

S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数シリーズ、 S&P/TSX カーボン・エフィシエント指数シリーズ、及び S&P グローバル・カーボン・エフィシエント指数シリーズに関する相談 – アップデート

アムステルダム、2023年1月12日：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス（以下、「S&P DJI」という）は、S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数シリーズ、S&P/TSX カーボン・エフィシエント指数シリーズ、及び S&P グローバル・カーボン・エフィシエント指数シリーズに含まれる全ての指数のメソドロジーの変更に関して市場参加者と相談を行います。

S&P DJI は、炭素ウェイト調整表の変更を行い、既存の温室効果ガスの開示データポイントとともに、「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）」の開示データポイントを調整表に組み込むことを提案します。二酸化炭素換算（CO2e）の排出量の開示状況が「開示」となっている企業で、TCFD のデータセットによりカバーされていない企業は、「統合されていない」と見なされます。今回の変更の結果、S&P DJI はこのデータセットの利用可能性を適切に反映するため、リバランスのスケジュールを毎年4月のリバランスから毎年6月のリバランスに変更することも提案します。この変更案は以下のページに記載されています。

炭素ウェイト調整表

メソドロジーで使用されている「現在の炭素ウェイト調整表」

			産業グループのインパクト・ファクター		
			低	中	高
			x0.5	x1	x3
十分位数分類	開示状況	十分位数ウェイト	炭素ウェイト調整		
	二酸化炭素換算の排出量	調整			
1	開示	40%	20.0%	40.0%	120.0%
	非開示	30%	15.0%	30.0%	90.0%
2	開示	30%	15.0%	30.0%	90.0%
	非開示	20%	10.0%	20.0%	60.0%
3	開示	20%	10.0%	20.0%	60.0%
	非開示	10%	5.0%	10.0%	30.0%
4-7	開示	10%	5.0%	10.0%	30.0%

	非開示	0%	0.0%	0.0%	0.0%
8	開示	0%	0.0%	0.0%	0.0%
	非開示	-10%	-5.0%	-10.0%	-30.0%
9	開示	-10%	-5.0%	-10.0%	-30.0%
	非開示	-20%	-10.0%	-20.0%	-60.0%
10	開示	-20%	10.0%	-20.0%	-60.0%
	非開示	-30%	-15.0%	-30.0%	-90.0%

メソドロジーで使用される「提案された炭素ウェイト調整表」

				産業グループのインパクト・ファクター		
				低	中	高
				x0.5	x1	x3
開示状況						
二酸化炭素換算の			十分位数ウェイト調整			
十分位数分類	排出量	TCFDの枠組み	十分位数ウェイト調整	炭素ウェイト調整		
1	開示	統合されている	40%	20.0%	40.0%	120.0%
	非開示	統合されていない	35%	17.5%	35.0%	105.0%
	非開示	関連がない	30%	15.0%	30.0%	90.0%
2	開示	統合されている	30%	15.0%	30.0%	90.0%
	非開示	統合されていない	25%	12.5%	25.0%	75.0%
	非開示	関連がない	20%	10.0%	20.0%	60.0%
3	開示	統合されている	20%	10.0%	20.0%	60.0%
	非開示	統合されていない	15%	7.5%	15.0%	45.0%
	非開示	関連がない	10%	5.0%	10.0%	30.0%
4-7	開示	統合されている	10%	5.0%	10.0%	30.0%
	非開示	統合されていない	5%	2.5%	5.0%	15.0%
	非開示	関連がない	0%	0.0%	0.0%	0.0%
8	開示	統合されている	0%	0.0%	0.0%	0.0%
	非開示	統合されていない	-5%	-2.5%	-5.0%	-15.0%
	非開示	関連がない	-10%	-5.0%	-10.0%	-30.0%
9	開示	統合されている	-10%	-5.0%	-10.0%	-30.0%
	非開示	統合されていない	-15%	-7.5%	-15.0%	-45.0%
	非開示	関連がない	-20%	-10.0%	-20.0%	-60.0%
10	開示	統合されている	-20%	-10.0%	-20.0%	-60.0%
	非開示	統合されていない	-25%	-12.5%	-25.0%	-75.0%
	非開示	関連がない	-30%	-15.0%	-30.0%	-90.0%

リバランス・スケジュール

現行	提案
これらの指数は毎年リバランスされ、3月の第3金曜日の取引終了後に有効となります。リバランス参照日及び構成銘柄選択のための参照ユニバースは2月の第2金曜日です。	これらの指数は毎年リバランスされ、6月の第3金曜日の取引終了後に有効となります。リバランス参照日及び構成銘柄選択のための参照ユニバースは5月の第2金曜日です。

インパクト分析

以下の表は、2022年3月のリバランス時点のデータを使用し、今回の変更により影響を受ける代表的な指数に関して、原指数と比較した加重平均炭素強度（WACI）の削減やアクティブ・シェアへのインパクトを示しています。

指数	WACI の削減	アクティブ・シェア
S&P 500		
カーボン・エフィシエント（現在のメソドロジー）	27.9%	9.7%
カーボン・エフィシエント（提案されたメソドロジー）	26.7%	9.3%
S&P/NZX 50		
カーボン・エフィシエント（現在のメソドロジー）	22.4%	7.8%
カーボン・エフィシエント（提案されたメソドロジー）	22.7%	8.1%
S&P/TSX 60		
カーボン・エフィシエント（現在のメソドロジー）	29.5%	11.9%
カーボン・エフィシエント（提案されたメソドロジー）	34.1%	12.8%

Index	WACI の削減	アクティブ・シェア
S&P/ASX 200		
カーボン・エフィシエント（現在のメソドロジー）	26.2%	8.1%
カーボン・エフィシエント（提案されたメソドロジー）	26.7%	8.1%
S&P 欧州 350		
カーボン・エフィシエント（現在のメソドロジー）	21.2%	11.4%
カーボン・エフィシエント（提案されたメソドロジー）	33.7%	13.2%
S&P 南アフリカ国内株主加重(DSW) [アンキャップド・バージョン]		
カーボン・エフィシエント（現在のメソドロジー）	41.5%	11.2%
カーボン・エフィシエント（提案されたメソドロジー）	41.5%	11.4%
S&P 中国 A 株総合指数 (BMI)		
カーボン・エフィシエント（現在のメソドロジー）	42.4%	8.1%
カーボン・エフィシエント（提案されたメソドロジー）	46.9%	8.1%
S&P KRX キャップド		
カーボン・エフィシエント（現在のメソドロジー）	22.3%	14.6%

カーボン・エフィシエント（提案されたメソドロジー）	19.7%	14.2%
S&P グローバル大中型株（除く日本）		
カーボン・エフィシエント（現在のメソドロジー）	40.8%	11.7%
カーボン・エフィシエント（提案されたメソドロジー）	42.1%	11.3%
TOPIX		
カーボン・エフィシエント（現在のメソドロジー）	32.4%	12.5%
カーボン・エフィシエント（提案されたメソドロジー）	31.2%	12.1%

実施のタイミング

S&P DJI は、上述のメソドロジーの変更が採用された場合、次回のリバランスに合わせてこの変更を実施することを提案します。この変更は、上述のリバランス・スケジュールの変更に従って、**2023年6月19日（月）**の市場開始前に有効になる予定です。この変更が採用された場合、**2023年6月9日（金）**からプロフォーマ・ファイルでこの変更を初めてお客様にお知らせする予定です。

質問

次の質問に回答し、回答の根拠を S&P DJI に提示ください。

1. 炭素ウェイト調整表を変更する提案に同意しますか？
2. リバランス・スケジュールを変更する提案に同意しますか？
3. 変更案が採用された場合、提案された実施日に同意しますか？
4. 変更案の概要に関して他にコメントまたはフィードバックがありますか？

S&P DJIでは、貴社の見解や意向を適切に評価する上で様々な市場参加者から情報を収集しているため、貴社がこの相談に参加していただくことは非常に重要です。**2023年2月6日**までにこの調査に回答いただければ幸いです。この日付を過ぎた場合、回答を受け取ることができませんので、ご容赦ください。S&P DJIでは指数委員会の最終レビュー前に、レビューの一環として回答者からの説明をお願いする場合があります。

今回の相談に参加するには、[ここ](#)をクリックしてオンライン調査に回答してください。

今回の相談に関する詳細については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス (SPDJI_Index_Governance@spglobal.com)宛てにお問い合わせください。

今回の相談で寄せられた全てのコメントをレビュー・検討した上で、最終決定が下されます。ただし、S&P DJIは、回答に従うことを保証するものではなく、またはその義務もありません。この調査により、変更が行われない場合もあります。S&P DJIが指数メソドロジーの変更を決定した場合、弊社のウェブサイト上でその旨を報告いたします。

CONSULTATION

調査にご協力いただき有難うございました。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスに関する詳細については、www.spglobal.com/spdjiをご覧ください。

S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスについて

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、指数ベースのコンセプトやデータ、リサーチを提供する世界最大のグローバル・リソース企業であり、S&P 500®及びダウ・ジョーンズ工業株平均®といった金融市場の代表的指標を算出しています。当社の指数に基づく金融商品に投資される資産額は、世界の指数プロバイダーの中で最大規模となっています。チャールズ・ダウが1884年に初めて指数を発明して以降、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、広範なアセット・クラスをカバーする指数を開発しており、これにより投資家が市場を測定し、売買する方法を定義することが可能となっています。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、S&P グローバル (NYSE: SPGI) のグループ会社であり、個人や企業、政府が確信を持って意思決定を行う上で不可欠な情報を提供しています。詳しい情報については、www.spglobal.com/spdjiをご覧ください。

詳しい情報については、以下にお問い合わせください：

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス

index_services@spglobal.com